

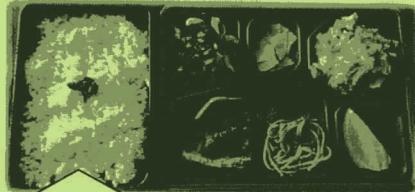
長野市地域包括支援センター コンフォートきたながいけ H30.3発行

# ほっとだごより 初春号

発行責任者：川相 香子  
お問い合わせ：026-254-5250

## わが町の“食”の資源を紹介します

私たちが心を込めて作っています。



野菜たっぷり、お母さんの味！

栄養満点で、健康管理はバッチリ☆

1食の注文からOK【少なめ】【おかずのみ】【おかゆ】【刻み】もできます。



宅配弁当 つくしの里 大豆島店

注文先：026-267-0294

※12/30～1/3と8/14～16はお休み

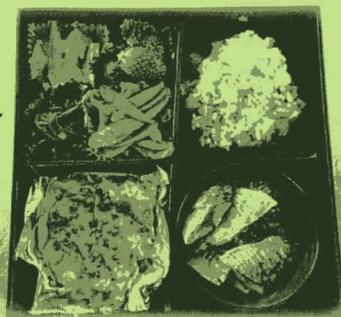
朝陽地区には、一人暮らしの高齢者の  
お宅へ、手作り弁当を届ける配食ボラ  
ンティアの『ばらの会』があります。



一人一人手渡し  
で、温もりと笑  
顔を届けます。

「朝陽地区に住む住民として、自分にできる当たり前のことをしているだけです」と代表の桜井さん（写真中央）。桜井さん的人柄に自然と有志が集まりました。

朝陽公民館の  
調理室で調理  
しています。



月2回（第2、4火曜日）配食します。  
問い合わせ：担当の民生委員さん

気になったら…  
まずはご相談ください！



長野市地域包括支援センター コンフォートきたながいけ

☎ 026-254-5250 営業時間 月～金曜日 8:30～17:30

# 地域包括支援センターの活動報告

## ～地域包括ケアシステムの構築を目指して～

H30.2.2

### 大豆島総合市民センター

昨年に引き続き、「認知症高齢者とその家族を支えるために」と題し保健、福祉、医療、地区のボランティアや福祉関係者、金融機関の方々、総勢約60名が集まり、認知・判断力の低下で、車の運転をやめざるを得なくなった場合の代替手段について、具体的に検討しました。

2025年には、65歳以上の5人に1人が何らかの認知症状を有するという指標が示されおり、アンケートでも「認知症」への関心が最も高かったです。

「“認知症”的人」ではなく「認知症の人」への支援が大切です。社会から排除されることなく、地域の一員として車の運転をしなくとも暮らせる環境作りが必要です。



平成29年度 朝陽・大豆島地区  
地域包括ケア推進ネットワーク会議

H30.2.18

### 朝陽支所

磯村クリニックの磯村院長、中村歯科医院の中村歯科院長、長野市薬剤師会の竹内常務理事をお招きして、在宅医療について考えました。

高齢化が進展する中で、治せない病気や障害になっても死ぬまで病院のベッドで横になるのではなく、自宅（住み慣れた場所）で好きなものに囲まれて「気持ちよく」「いきいきと暮らし」安らかに旅立つための医療が必要になります。その人の力を引き出しながら、医師や介護の専門家と家族がチームを組んで支援していく、延命医療ではない「生活医療」が大切であると学びました。

平成29年度 あんしん在宅医療・介護 市民講座  
在宅医療・介護シンポジウム～住み慣れたまちで最期まで～

